

「つよしくん」「くろっけ」の特性紹介

はじめに

乳牛・肉牛ともに、その後の乳・肉生産を最大にもっていくためには、それぞれの発育段階で様々な技術・製品がありますが、その中でも、哺育時期を健康に、元気良く育てていくことは、全ての生産活動のスタート地点として、重要なポイントとなります。当社では子牛用代用乳として、「つよしくん」(ホル専用)、「くろっけ」(和牛専用)の二種類の代用乳を販売致しております。そこで、今回は「つよしくん」「くろっけ」の特性と、事例として、当研究農場での哺育成績について紹介させていただきます。

一 中鎖脂肪酸(MCT)の採用

MCTは通常の油脂と比べると、四倍のスピードで消化、吸収されます。これは、特に虚弱な子牛に対しては、すぐに利用できるエネルギー源として有効となり、つよしくん、くろっけの両製品に採用されています。

二 ガラクトオリゴ糖・ヨーグルト菌

子牛の腸内細菌叢を良好にします。特に、ストレスのかかる条件下の子牛には有効となり、子牛の発育を助けてくれます。この、ガラクトオリゴ糖の利用技術は、雪印グループの共同研究の成果です。

三 栄養価のアップ

子牛の早期離乳に対応するために、栄養価をアップさせています(表1)。和牛用代用乳くろっけでは、脂肪含量をアップさせており、これは下痢・軟便の減少、増体の向上に効果があります。

四 血漿たんぱくの採用

血漿たんぱく(天然アルブミン・グロブリン)は子牛の体内で良好なたんぱく質源となり、腸管での免疫としての効果があります。

五 さらに溶けやすく

製造工場での顆粒化技術の採用により、従来より更に溶けやすくなりました。

北海道の冬はこれからが本番、まだまだ寒い日が続きます。子牛の哺育管理にも様々な創意工夫をされている方も多いと思います。当研究農場において、夏場と冬場に哺育した子牛(ホル)の成績を見ると、冬場でも、夏場と同等の発育成績をあげています(図1)。前述しましたように、哺育時期において最も重要なことは、良質な代用乳を給与するとともに、子牛を健康に、元気良く育てる技術を持つことであり、当社では、ホル・和牛ともに哺育・育成マニュアルを用意しております。詳細については、各営業所にお問い合わせ下さい。

(北研 壹岐)

表1 保証成分

	粗たんぱく質 %以上	粗脂肪 %以上	粗繊維 %以下	粗灰分 %以下	カルシウム %以上	リン %以上	DCP %以上	TDN %以上
つよしくん	27.0	20.0	1.0	10.0	0.70	0.80	23.0	112.0
くろっけ	23.0	27.0	1.0	10.0	0.40	0.30	14.0	118.0

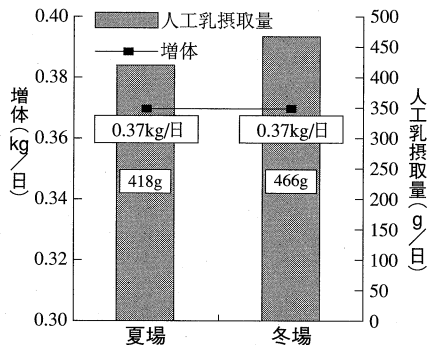


図1 夏場と冬場の5週齢までの成績



エスカリウは、畜産公害の防止と地力の向上という時代の要望にこたえて新開発された、人畜無害の畜産用資材です。その主な特性は、独特の物理性(多孔質)と化学性(珪酸カルシウム他)にあります。

雪印種苗株式会社
編集発行人 菊地 庸
本社 062-8650 札幌市豊平区美園二条一丁目
TEL(011)831-1161
FAX(011)820-2582